

## 70101畜産業における死傷災害100事例 (-2017年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	21~22	牛舎内にて、乳牛に注射を打っているとき（ビタミン剤）、乳牛（乾乳中）の首を保定していたが、真後ろに立ってしまったため、牛に後ろ足で蹴られた。	31	6	719	1~9
2	2017	12	7~8	逍遙馬道において、調教終了後の乗運動中、該馬が突然暴れた際に落馬し、左膝を強打し負傷した。	60	1	719	10~29
3	2017	12	13~14	当社農場の養豚場に於いて、空いた豚舎を高圧洗浄機で洗浄していたところ滑ってしまい、転倒して左足を骨折したものである。	76	2	417	1~9
4	2017	12	10~11	当社内事務所において、年末の大掃除を行っている時、ほうきを使い壁面のくもの巣払いをしていたところ、玄関階段部分（全6段）で足をふみ外し転んでしまい、下までころげ落ちてしまった。	69	1	414	50~99
5	2017	12	15~16	競走馬スイミングプールの馬プール出入口付近において、該馬の運動終了後、該馬が突然ぶつかってきた際、胸部、右脇腹を蹴られ負傷した。	43	6	719	10~29
6	2017	12	16~17	種豚舎前の通路で移動中、段差につまずき転倒した。転倒時、路面は圧雪状態であった。その後数日は出勤していたが、痛みが治まらなかったため受診した。	60	2	417	30~49
				敷地内洗い場と厩舎の間で、馴致のため、本人が調馬索を持				

7	2017	12	9~10	ち、同僚が同馬を引いていたところ、突然同馬が暴れ、前へ駆け出し、左右に激しく動いた為、2人とも引っ張られ、左右に振られる状態になった。暴れる馬を抑えるため、紐を引いた際、腰に強い痛みが走った。	40	19	719	10 ～ 29
8	2017	12	7~8	厩舎から衛生室へ道具を取りに向かう途中、地面の凍結に気づかず、滑って転倒した。	27	2	719	50 ～ 99
9	2017	12	8~9	ビニールハウスにて給水しようとしてハウス内に入ったところ、牛の水飲場が壊れていてその水が凍り、氷になっていて、その上に乗った所で滑って転倒し、左腕を打ってしまった。	59	2	719	10 ～ 29
10	2017	11	10~11	農場、集卵作業にて汚卵洗浄機稼働中に発生した。洗浄機内部に手を入れる際は、機械停止を行う事を再三注意喚起を行っていたにもかかわらず、機械を停止せず、引っ掛かった卵を取ろうとした。その際、チェーンベルトに左手が巻き込まれてしまい、中指上部のヒビ、爪が剥がれ裂傷、薬指も裂傷を負った。	46	7	224	1~ 9
11	2017	11	14~15	第15回競馬4日目第7レース発送後、厩舎に帰る坂道付近で、発送予定の馬とすれ違った際、興奮して立ち上がった時に転んで、ヘルメットを蹴られた時に負傷した。	50	6	719	1~ 9
12	2017	11	15~16	厩舎内廊下で、馬房へ馬を曳いている時に突然馬が立ち上がり、その際にバランスを崩し左足首を捻った。しばらく様子を見たが、痛みがあり腫れているので受診した。	30	19	911	50 ～ 99
13	2017	11	9~10	集卵作業中、2号舎から5号舎へ歩行にて移動している時、薄いベニヤ板に足を取られ転倒した。その際に左足をひねり、右手を床について負傷した。	69	2	522	10 ～ 29
				ホテル調理場内にて、デシャップ台（完成した料理を配膳前に一時的に置く台）付近の段差に躓き転倒した。その際に最初にデシャップ台にぶつかり右顔面を打ちつけてしまった。前日に調理場内の床面清掃を行い台が通常時に比べ位置が違ってお				

14	2017	11	11~ 12	り、そのために、感覚が変わって、躓いてしまったようである。翌日になっても痛みが引かなかったために受診した。その後、1週間後に受診し、翌月は通常勤務を続けたが、右手に痺れが出るなど、違和感を感じ、翌々月に受診し痛みが続いていることを伝えた。	34	6	719	1~ 9
15	2017	11	8~9	角馬場において騎乗調教中、該馬が突然斜行し尻っぱねをした際バランスを崩して落馬し、馬場に飛ばされた際背部と左手甲部分の骨を打ち、負傷（骨折）した。	57	1	719	10 ~ 29
16	2017	11	6~7	朝の調教の為、装鞍所において馬（牡、2歳馬）の調教を始めようと馬場に入ろうとしたところ、同馬が暴れて馬場管理棟の柱にぶつかった際に左足を負傷した。	35	6	719	1~ 9
17	2017	11	8~9	自宅牛舎内で自走式給餌機で給餌中、給餌機の前輪右タイヤが、バンクリーナーの溝に脱輪したため、引き上げ中に給餌機が横転し、下敷きとなり、左足を負傷した。（後日、右足2ヶ所骨折も判明）	34	7	229	1~ 9
18	2017	11	14~ 15	乾乳牛舎へ牛を移動させるため、家畜車を誘導していたところ、牛舎入口が少し傾斜があり雪で滑り易い状態だったので少し勢いをつけて車が上って来たので避けきれなく、車のあおり部分と牛舎扉部分に足を挟まれた。	39	18	221	10 ~ 29
19	2017	11	15~ 16	牧場にて、繁殖馬を馬房に入れるため、馬を引いていたところ、急に立ち上がり、馬と一緒に右腕が上がり、激痛がはしった。	20	19	719	10 ~ 29
20	2017	10	16~ 17	業務中の被災である。台風明けの養鶏場の作業が一段落したあと当工場の外にある鶏舎の糞をショベルカー（タイヤ付小型特殊自動車）のポケットを利用してその鶏舎の奥まで固めておく運転作業を繰り返していた時の被災である。バックをしながら踏み込んだフットペダルに足が絡まったか、そのまま当該敷地	56	1	142	10 ~ 29



29	2017	10	16～ 17	馬房内で当才馬の蹄の裏掘り作業をしていたところ、左後蹄の裏掘りを終えた時に後肢で左頬を蹴られ頬骨骨折。	58	6	719	30 ～ 49
30	2017	10	8～9	就業場所牧場の牛舎で搾乳を終えた牛の移動をしていた。牛舎内で牛の誘導をしていたところ、急に牛が団体で走り出したため、避けきれずに牛舎のH型鋼と牛との間に体が挟まれてしまい負傷した。	48	6	719	1～ 9
31	2017	10	14～ 15	工場内の卵を選別するラインのすぐ近くに卵の洗浄機がある。その入口、出口付近に通常は触れることはないが、近くに卵の殻があり、本人が気になって取り除こうとした。その際、歯車に指を巻き込まれ、引っ張ってしまい、右手人差し指の第一関節より上を切断してしまう。	69	7	169	10 ～ 29
32	2017	9	15～ 16	製造工場内で油槽の清掃中、誤って約1.3kgの部品を80cmの高さから患部に落とした、その時に足指が無防備なサンダルを履いていた。	62	4	521	30 ～ 49
33	2017	9	5～6	乗運動中、該馬が突然暴れて落馬し、腰部を強打負傷した。	44	1	719	10 ～ 29
34	2017	9	15～ 16	馬場にて騎乗練習中に馬が暴走し、ラチに衝突し前方へ落馬。背中から地面に着地した為、背中・腰・左手（薬指）を強打し痛めた。	24	1	911	50 ～ 99
35	2017	9	14～ 15	二次処理貯留槽のポンプのコンベラー交換時に、ポンプを階段から下ろす時に両手でポンプを持っていたが、左手の方が滑り落ち右手を巻き込む形で骨折した。	41	19	169	50 ～ 99
36	2017	9	6～7	委託先農家の牧場内で、牛を委託先から会社に運搬するため、トラックに牛を積み込もうとしていた際、牛が逃げそうになり、牛に繋いだロープが引っ張られ、コンパネに指をぶつけ負傷した。	52	3	719	10 ～ 29

37	2017	9	16~ 17	従来からある自社敷地内の物置小屋の増設を2名で本来作業の他に行っていた。当日降雨の為一旦その作業を中断していた。雨が止んだ為、本人が1名のみでその作業を再開した。その際、軒高約2mの屋根に長さ約3mのアルミはしごを立てかけて登り、ブルーシートを張ろうとしたところ、バランスを崩して地面に落下し頭部を強打した。	63	1	371	1~ 9
38	2017	9	6~7	牛舎搾乳場で搾乳中、乳牛の足が左手ひじの部分に当たりすり傷が出来た。その後、徐々に化膿が始まり左うでから手の甲にかけて腫れ、発熱した。後日受診し、抗生物質の投与が必要ということで、入院に到った。	27	90	911	1~ 9
39	2017	9	10~ 11	牛を削蹄枠に入れる作業をしていた時、牛の前足が動かなく本人が足で強く蹴っていたら、急に牛の前足が動いたため、足をへんにひねって右ひざの腱を切った。	28	19	921	1~ 9
40	2017	9	17~ 18	酪農ヘルパー出役中、育成牛を移動している時、1人が前から引っ張っていたが、動かなかったので、自分は後ろ側から尿溝にあるパンクリーナーのチェーンに左足をかけ、牛を押していたら、足首をひねったような気がしたので、押すのをやめて足をついたら痛みがあって、歩くのも痛かったので、すぐ病院を受診し、肉離れと診断され帰宅した。翌日になっても痛みが治まらなかったため、整形外科病院を受診した。アキレス腱断裂と診断され、後日手術した。	56	19	719	1~ 9
41	2017	8	14~ 15	育成舎で、空になった豚房の水洗いをしていた。餌箱の中を洗うため、豚房の壁に立て掛けようとしたが、壁に届かず、左足甲に倒れてきて負傷した。	61	4	379	100 ~ 299
42	2017	8	7~8	鶏舎内で鶏に給餌中、給餌機BOX内のゴミが詰まっていたため、電源を切り忘れたまま取り除こうとした。その際、稼働中の給餌機BOX内に指を突っ込んでしまい、給餌機チェーンに指を巻き込まれ負傷した。	44	7	224	10 ~ 29

43	2017	8	15~ 16	会社の敷地内において、刈払機で作業中、錆びた針金が飛んで来て、長靴を貫通して足に刺さった。	59	4	169	1~ 9
44	2017	8	9~ 10	牧場内において、馬の写真撮影作業中、馬の曳き綱を持って馬の正面に立ち、馬の姿勢を整えていたところ、馬が急に暴れたため転倒し、右肩付近を地面に強打し骨折した。	48	2	719	1~ 9
45	2017	8	11~ 12	仕事のやり方について他の従業員と食い違いが生じ、口論となって揉み合いになり、牛の餌箱に倒れ込んだとき、餌箱の縁で左脇腹を強打し、肋骨を負傷した。なお、従業員同士の間には私恨はない。	34	90	911	1~ 9
46	2017	8	14~ 15	当社育成鶏舎2階において、鶏舎内のホコリ落とし作業中、中間ステップの最後尾付近で壁部分の鉄骨と中間ステップの間の一部に隙間（約20cm）があるのに気付かず右足を大腿部まで落とし大腿部を強打し負傷した。	56	3	416	10 ~ 29
47	2017	8	13~ 14	牧場内で和牛の人工授精をする為に、運動場から雌牛を枠内へ追い込む作業中に、首にロープをかけていた。牛の後方からそのロープを両手で掴み保定しようとした際、牛が急に向きを変えて走ったため、ロープに指をとられた。軍手をしていたが、その際に軍手が外され、軍手の中に切断された小指が残っていた。	63	19	719	1~ 9
48	2017	8	10~ 11	牛舎内のパーラーで牛の検査作業中に、パーラーから勢いよく出てきた牛と柵の間に右腕を挟まれ骨折した。	21	6	719	10 ~ 29
49	2017	8	16~ 17	馬の治療中、馬が治療を嫌がり突然後ずさりをした。その際、手に持っていた引手綱が右手中指に絡み負傷した。	36	7	719	30 ~ 49
50	2017	7	15~16	農場内GP製品庫で製品の入った台車（約150kg）を押していた際、床面が劣化してくぼみがあるところに台車の前コマが挟ま	26	3	416	50 ~

				り、台車が倒れた。その際、後コマ下部のフレームで右足首を打撲した。				99
51	2017	7	10~11	豚舎で豚ふんを運搬車で運ぶ作業中、運搬車の操作を誤り豚舎ブロック壁と運搬車に体を挟まれ骨折。	53	7	229	1~9
52	2017	7	15~16	厩舎前において馬運車から降ろす際、該馬が物見し飛び降りその際左足第4・5指に着地され、同部を負傷した。負傷当日より痛さがあり我慢していたが翌日腫れが広がっているため、救護室にて診てもらい処置してもらい、骨折していると言われ湿布を貼って我慢した。	30	6	719	10~29
53	2017	7	11~12	被災者は、当社農場内の肥育ハウスの中で肥育豚の治療をしていた時、ハウス内の段差でつまずき左足甲を負傷した。（段差の高さは30cm位）	35	2	417	10~29
54	2017	7	11~12	交配豚舎内において、豚の交配作業中、雌に雄が乗ったので補助に入ろうとしたところ、雄が足を滑らせ雌から滑り降りたために、豚房柵と雄の間に左手が挟まれ骨折した。	25	7	719	1~9
55	2017	7	16~17	馬房の中で、馬を捕まえようとした時に、馬が嫌がり暴れて右太もも当たりを蹴られて負傷した。	46	6	719	10~29
56	2017	6	15~16	農場分娩舎入口付近で、被災者が離乳子豚計量機等を、1枚の板に載せて運搬中、子豚の調子を確認しようとして脇見をしてしまい、床に置いていた餌付用容器に足を引っ掛けてしまい転倒した。	58	2	417	1~9
57	2017	6	8~9	リパックエリアで、機械がプラスチックに入っている卵を吸盤で吸い上げて、ダンボール梱包用のトレイに移す際、プラスチックトレイに正確に入っていない状態で機械が停止したため、トレイの卵を除くために手を入れた際、機械が非常停止せず、頭部をロボットヘッドに挟まれた。その際、左頭部、右の顔から首にかけて打撲し、歯（左上糸切り歯）も欠	38	6	169	30~49



				けた。				
58	2017	6	6～7	馬場Eコースにおいて、ゲート練習中、該馬が嫌がって突然立ち上がり人馬転倒し、右膝を強打し負傷した。	34	2	719	10 ～ 29
59	2017	6	11～ 12	本社敷地内の堆肥捨場にて、堆肥を一輪車にてトラックに積み込む際、足を踏み外して転倒し、腰を打ちつけた。	46	1	221	10 ～ 29
60	2017	6	16～ 17	豚舎の天井裏を通り、豚房内の給餌器に飼料を搬送するドロップパイプの緩みに気付き、修理のため豚房柵に足をかけ、上り口より天井裏に上り、緩みを締め直した。修理が終わり下に降りようと豚房柵に足を掛けた際、足を滑らせ豚房柵の上部に股間から尾てい骨にかけ強打した。	44	1	418	10 ～ 29
61	2017	6	6～7	親馬の後肢手入れ中、馬が少し嫌がる素振りを見せ、後肢を振り上げた。その際、馬の後肢蹄が太股内側に接触した。	21	6	719	50 ～ 99
62	2017	5	11～ 12	当社堆肥舎で、ボブキャットに乗りバケットを操作しながら堆肥を混ぜる作業をしている時に、突然ボブキャットが前に傾いたため、ボブキャットから降りようと右足を出したところ、傾いていたボブキャットが元の状態に戻ったと思ったが、バケットが下降してきて、降りようと出していた右足の膝下を、ボブキャット本体とバケットとの間に挟んでしまった。	19	7	141	1～ 9
63	2017	5	15～ 16	草刈作業を行っている時に、落ちていた番線の破片が刃に当たって飛び上がり、足に当たり負傷した。	39	4	169	10 ～ 29
64	2017	5	5～6	自厩舎内、馬洗場（厩舎）において、運動終了後に洗場に繋ごうとした際、該馬が物音に驚き突然前に走り出したため踏まれ、右足の小指を負傷した。	39	7	719	10 ～ 29



72	2017	4	6~7	事業主牛舎にて子牛の熱を測っていたところ、他の牛が暴れて右手首を蹴られて受傷した。	57	6	719	~ 29
73	2017	4	7~8	騎乗調教を開始しようとして場内厩舎前で馬にまたがった際、馬が突然暴れ厩舎内に向かって走り出し、騎乗したままの状態であんとか止めようとした。その時に厩舎の天井の梁に頭部をぶつけ落馬した。	40	1	719	10 ~ 29
74	2017	3	8~9	鶏糞場で鶏糞を処理する際、発酵を促し堆肥化し肥料として活用するが、発酵鶏糞をボブキャット（重機）にてかき混ぜる作業に従事する際は、防毒マスクを装着しなければいけないところ、防毒マスク装着を怠り、煙には気をつけていたが風向きの変化に対応できず、発酵熱の煙が右目をかすめた。	29	12	519	10 ~ 29
75	2017	3	13~14	豚の移動作業に従事中（豚を豚舎から出す直前）、豚が逃走しないように逃走用のビニールシート（1m×20m）を3人で持ち、シートが風でめくれないうシートの下を踏みつけて立っていたとき、前からの突風に煽られ、右端に立っていた被災者が転倒し、右手をついて負傷した。	61	2	418	30 ~ 49
76	2017	3	11~12	洗い場にて馬の肢を洗っていた際、馬に洗い場の壁へ押し付けられ、手を馬と壁の間に挟まれ負傷した。	23	7	719	—
77	2017	3	9~10	取扱馬の曳き運動中に該馬が突然暴れ、右脇腹を蹴られ、同部を負傷した。	39	6	719	10 ~ 29
78	2017	3	7~8	取扱馬の乗運動中、該馬が突然立ち上がり人馬ともに転倒し、右足踵部分を負傷した。	46	1	719	10 ~ 29
79	2017	3	14~15	プラットホームで作業中に段差を下りる際、足場になっていたブロックが転がり転倒し、地面に頭を強打した。	57	1	371	1~ 9
				当社養鶏場敷地内にて、樹木の伐採の作業中、高い所の枝を伐				10

80	2017	3	11~12	採するため乗っていた脚立（高さ4m位）から誤って足を踏み外し、地面に落下し負傷した。	67	1	371	~ 29
81	2017	3	18~19	鶏舎室内で最終見回り時に、ホッパーのチェーンが緩い事に気づいたためテンションを張る作業中に、タイマーによりホッパーが動き出し、チェーンに指を挟まれた。自動運転の設定になっていて、タイマーで停止していたが、電源を切らないまま作業し、タイマーの時間がきて動き出した。	39	7	169	~ 29
82	2017	3	9~10	坂路コースにおいて取扱馬の騎乗調教中、該馬が興奮して暴れたため落馬し、左胸部（肋骨）を負傷した。	59	1	719	10 ~ 29
83	2017	3	14~15	鶏ふん温水器で鶏ふんを燃焼し、燃焼後の焼成灰が機械本体の下部中央部分に蓄積し、通常スクリーコンベアで機械本体の外部にタイマーで搬送される。今回の事故は、機械本体の中央部分のスクリーの上で燃焼部分の掃除をされていてタイマーが作動し、スクリーに巻き込まれた。	47	7	224	50 ~ 99
84	2017	3	8~9	自社農場で牛の出荷作業のため、牛をトラック荷台に載せる作業中、牛がトラック荷台から逃げようと向かってきたため体で阻止したところ、牛が頭で激突し突き飛ばされ、トラック荷台反対側の壁の鉄部分に腹部を強打し負傷した。	36	6	719	10 ~ 29
85	2017	3	7~8	ウッドチップパドック前でウッドチップパドック内にある水桶に水を入れるため、水が入ったポリタンクを両手に持ちながら、少し小走りしていたところ、雪がうっすら積もった通路がアイスリンクのようになっていて転倒した。	52	2	719	50 ~ 99
86	2017	3	8~9	屋内走路で育成馬の調教中、突然立ち上がり落馬し、左側肋骨骨折及び右肩負傷を負った。	52	1	719	30 ~ 49
				新規農場の立ち上げ準備中、農場に出向いたところ、豚舎資材置場の横を通りかかった際に突風が吹き、パイプが落ちてきて				1~

87	2017	2	8~9	首を直撃した。パイプ・・・自動給餌の餌ライン（餌の筒）、直径3.8cm。	33	4	391	9
88	2017	2	13~14	鶏舎内において、被災労働者が出荷後の鶏舎洗浄作業中に着用していた作業着のズボンが巣箱付属の集卵ベルトを通す金網部分（地上約40cm）に引っ掛かり転倒し左大腿部を負傷した。安静の為に帰宅しようとシャワー室から延びる階段を下りていた際によろけたため、階段横の土手（高さ約220cm）を滑り落ち、階段下にある側溝（幅50cm×深さ50cm）へ転落しさらに左大腿部を負傷したものである。	67	1	413	100 ~ 299
89	2017	2	11~12	牧場内トラックコースにて、暴走している馬を止めようとした際、その馬に衝突された。	49	6	719	30 ~ 49
90	2017	2	9~10	当社養鶏場において卵の回収作業をしていた。鶏がいるケージの間隙から右手を入れて卵を取ろうとしたところ、鶏に手を踏まれて慌てて手を引き抜いた。その際、ケージの網が少し破れていて右手親指付近を引っ搔いてしまい、被災した。	67	8	419	10 ~ 29
91	2017	2	9~10	Cコースにおいて取扱馬試教中、ゲートを出た後、該馬が突然跳ねた為バランスを崩し斜め前方へ落馬し、左肩部、頸部、左肘を負傷した。	39	1	719	10 ~ 29
92	2017	2	6~7	厩舎付近、馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が物音に暴れ上にジャンプした後、着地した時に馬の首の硬い部分に右手があたり小指を負傷した。	37	3	719	10 ~ 29
93	2017	2	9~10	繁殖豚舎で豚の交配中、雄豚が雌豚から離れた時、右側頭部に当たった。	30	6	719	—
94	2017	2	10~11	寝糞を撒く機械が詰まったのでエンジンを停止し糞を取り除く作業をしている、糞を引っ張った時に、引っ掛かっていた糞と羽の部分が一緒に動き右手人指し指が挟まり負傷した。	42	7	169	10 ~ 29

95	2017	2	14~15	競馬場自厩舎洗い場で2才馬を洗い場にいれる際、同馬が足を滑らせ転倒し、立ち上がる時に同馬の右前足で左足を踏まれた。その後も痛みを我慢しながらも治ると思い仕事を続けていたが馬のレントゲン時に一緒に検査してもらったところ骨折していたので後日に受診した。	36	6	719	1~9
96	2017	2	6~7	事業主経営牛舎内に於いて搾乳作業の為に牛を移動させていたところ、立てない牛がいたため、事業主を呼びに行こうとした際、足もとが凍っていたため、転倒し、右手首を骨折したものである。	26	2	719	1~9
97	2017	1	16~17	トラックで運んできた牛を牧場内で降ろす作業をしている際、牛が暴れ出してしまい、被災労働者の右肩にぶつかって負傷した。	61	6	911	1~9
98	2017	1	11~12	牧場内で、パワーショベルのグラップル（爪）を使用し、オイルの入っていた空のペール缶を潰す作業をしていた。作業中に缶が爪にはさまり、被災者が手袋をはめて缶を爪から蹴って外していた。その際、バランスを取るためグラップルの支点の部分に手を置き作業していたが、重機の運転手からは見えておらず、蹴りやすいように少しグラップルを広げたところ、支点到指を挟みこみ、右手指を負傷した。なお、運転手は重機運転に関する免許は持っていなかった。	22	7	142	1~9
99	2017	1	14~15	当事業場にある鉄工ヤード内において、天井クレーンの稼働域上に、天井から垂れ下がり障害となっていたブレースを外すため、被災者が油圧ショベルのバケット背に乗り、ブレースをガス切断していた。その際、切断したブレースが油圧ショベルの運転者へ落下し、それを振り払った手が操作レバーに触れ、油圧ショベルが大きく旋回し、バランスを崩した被災者が足から落下し負傷した。	54	1	142	10~29
				牛の出荷作業中にロープを引っ張って移動させようとした際、				10

100	2017	1	7~8	嫌がった牛が右側から当たって来た為、反動で反対側の柵に衝突した。	55	6	719	~ 29
-----	------	---	-----	----------------------------------	----	---	-----	---------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。